

# 4つのチェンジ 港区から新しい未来を!

チェンジ

1

＼新しいまちづくり／

**港区の「ビジョン」を**

**22年ぶりにアップデート!**

10年ごとに見直されるはずの都市経営ビジョン「港区基本構想」が、22年間、一度も更新されていません。

この20年で、人口動態が大きく変化し、テクノロジーは進化し、グローバル化が進み、時代は急速に変化しました。港区の高いポテンシャルを生かし、特区制度や民間の力を借りて、世界をリードする「港区ビジョン」を、一緒につくっていきましょう。

チェンジ

2

＼強いまちづくり／

**首都直下地震の**

**「被害想定」を3年で半減へ**

港区の被害想定は、建物全壊約800棟、エレベーター閉じ込め1300台以上、避難者約6万人、帰宅困難者約53万人。

この20年で、港区の人口は10万人以上増え、9割がマンション住民になり、街は激変しました。古いままの防災計画を見直し、エレベーター閉じ込め対策、マンション防災マニュアル策定支援など、全国に先駆けた「都市型防災モデル」を早急に確立する必要があります。

「被害想定」を今の倍のスピードで半減させます。区民27万人の命を確実に守り、「ペット防災」も進めます。



チェンジ

3

＼優しいまちづくり／

**もっと「人を大切に」**

**(子育て・教育・福祉)**

港区ではこの20年で、約20の再開発を終え、さらに25を計画予定中。10年後には人口が5万人以上増え、32万人になる予測です。

学童、介護・障がい者施設、運動場など必要な区民ニーズの整備が遅れています。教育・福祉現場は、人手不足で疲弊しています。区民ニーズを正確に把握して整備し、「対人サービス」の充実を行うことで、もっと「人を大切にする」社会をつくっていきます。

また、豊かな緑と水辺を生かした、歴史的価値が大切にされる「対話と調和のある」まちづくりを進めます。住み続けられる港区へ。



チェンジ

4

＼正しいまちづくり／

**区長の「任期」と**

**「退職金」の見直し**

区長の任期が長すぎることは、組織の硬直化、マンネリ、癒着など様々な弊害を引き起こすことが指摘されています。

1期任期を終えるごとに約2000万円、5期で1億円以上の退職金が支払われる「区長退職金」のあり方も問題です。区長の任期を3期12年までとする「多選自粛条例」を制定します。任期内に計画を完遂し、未来にバトンをつないでいく仕組みをつくりまします。